

2022年4月1日

各 位

愛知県岡崎市仁木町字荒下1番地
マルサンアイ株式会社
代表取締役社長 塚 信 好
(コード番号：2551)
お 問 合 せ 先
取締役管理統括部長 磯 村 智
電 話 番 号 0564-27-3700

DXに対する取組みに関するお知らせ

当社グループは、企業理念「健康で明るい生活へのお手伝い」に基づき、企業活動を通じて持続可能な社会の発展に取り組んでまいります。2020年6月8日に発表いたしました、2021年9月期から2023年9月期までの3か年を対象とした中期経営計画『クリエイト2023』の成長投資方針であるDX（MDX※）の取組み内容について、当社ホームページへ公開いたしました。概要につきましては、添付資料をご参照ください。

※MDX…マルサン デジタル トランスフォーメーション

以 上



※MDXとはマルサン デジタル トランスフォーメーションのことです。

MDXで食を通じて社会に必要とされる企業へ

マルサングループは、みそ事業と豆乳事業、その他事業と3つの事業で会社を成長させてまいりました。大豆を主原料とした商品を主に製造販売し、創業 70 年で 300 億企業となりました。大豆のプロとしての誇りと情熱が最大の強みとなっております。

近年では鮮度、チルド、アーモンドの語尾をとって「3 D」を次の成長カテゴリーとして捉えております。また、原料用の豆乳の提供も本格的に始め、中期経営計画の基本戦略の 1 に掲げております。

これまでは中期経営計画の元に経営を進め比較的順調に既存事業の延長線上で拡大の投資もおこなってきました。その結果、一定の規模拡大は出来ましたが、事業環境が著しく変化してきた近年では従来の延長線上での経営ではこれまでの強みが活かされない可能性が出てまいりました。背景には生活者の意識、嗜好の変化、デジタル化による購買動向の変化があります。また、グローバルにデジタル化が加速し、高齢化、都市化、流通の変化、環境、健康意識の高まりが顕著になり、ESG、SDGs へのコミットメント、働き方改革が求められるようになりました。かかる変容を真摯に受け止め、今後も加速するであろうデジタル化に対していち早く対応し業界をリードする企業になるべく、MDX を立ち上げました。食を通じて社会に必要とされる企業になるため、デジタルでビジネスを変革し中期経営計画を達成させる、そのソリューションとしての位置付けが MDX であります。



マルサングループの MDX は 2020 年から準備し 2020 年 12 月から MDX 会議を立ち上げ、それまで各事業体の中で行われていた活動を MDX 会議の中でプロセスの見える化を具現化し、グループ全体の活動へと変化させました。代表取締役の強いコミットメントのもと、デジタルの持つ圧倒的破壊力とスピードそして複写の特性を活かしてプロセスを再構築し、既存ビジネスに生産性の向上、コスト削減、時間短縮を生み出し、業務そのものを見直し、働き方に変革をもたらせ、従来なかった製品、ビジネスモデルを生み出す事を目指します。

クリエイト2023達成に向けて

① 2023へ向けての貢献

MDX(マルサン デジタル トランスフォーメーション)はデジタルでビジネスを変革させるものとし、当社グループは食を通じて社会に必要とされる企業を目指し常に社会変革をリードする企業でありたいと願っています。

※マルサングループ第三次中期経営計画「クリエイト 2023」

http://www.marusanai.co.jp/wp/wp-content/uploads/2021/11/marusanai_20211104.pdf

② 食を通じて社会に必要とされる企業へ —健康で明るい生活へのお手伝い—

変化に迅速に対応し企業ブランドを向上させてマルサンファンの獲得を目指します。

③ 企業ブランドを向上させるために6つの基本戦略を実行します



安全安心品質向上



SDGs対応



ローコスト体質



基幹事業拡大と新規事業挑戦



人材育成



独自の商品開発と技術力強化・伝承

マルサングループにおけるMDX推進の4ステージ

当社のグループ、事業の足並みが揃うように共通のゴール、ステップでMDXを進めるため、MDXモデルを採用しました。全組織が一目瞭然でプロセスとゴールを明確に理解できるような体制を作り上げ、全社員が共通の目標に向かって新たな価値創出ができるようにいたしました。

PHASE 1

オペレーション変革

デジタル化をすることで全社で組織的に業務を変革させる。
→プロセスを再構築し、既存ビジネスに生産性の向上、コスト削減と時間短縮を生み出す。

MDX
1.0



PHASE 2

外部とのネットワーク変革

ビジネスパートナーと同じ目線で、消費者の皆様の欲しい商品やサービスを、欲しい時間や場所で提供する。

MDX
2.0



PHASE 3

事業変革

従来なかった製品、サービスやビジネスモデルを生み出す。

MDX
3.0



PHASE 4

社会変革

経済価値と社会価値両輪で業界の底上げと、MDXの浸透。

MDX
4.0

